



おかげさまで10期目を迎えることができました。皆様のご愛顧に感謝いたします。



エコバウリフォーム・ニュース

8月号

* エコロジー x バウビオロジー (建築と生態学を融合させた人間中心の建築設計です)

英国ガーデンシティ&ドイツ環境共生都市視察/第1回・英国リバプール近郊

100年前の長期優良住宅 ユニバーの石鹸工場町・ポートサンライト

リバプールに近いポートサンライトは、石鹸会社ユニバーが工場働く社員のために作った工場町。現在も当時の姿のまま1980年からトラスト(管理組合)が管理しています。全世帯900件の1/3はトラストが所有し借家で3LDKの家賃は約7万円。外観は素材、色共に当時のままをトラストが維持管理しています。その原資はユニバー社の年間100万ポンドの出資と住民1ポンドだけという驚くべき負担だけで運営されています。住民はイクスペンション(増築)など外観などに一切手を加えられない代わりに、中は現在の生活にマッチした素晴らしいリモテリングを繰り返しています。敷地はマーゼー川とポートサンライト駅の線路に挟まれた130ヘクタール(52万㎡)のため周辺に規模の拡張も行われませんでした。この適度な人口の均衡は『持続可能な社会』の大原則であると思います。英国の通常の住宅は100件/1ヘクタール(4000㎡)で開発されますがポートサンライトは13件。スペースにかなり余裕を感じますし、人々から愛され続け100年経た今も人気は高く住宅は資産価値を維持。価格はデュプレックス(連棟)の3LDKで16万ポンド(2300万円)以上で取引されています。

様々な建築様式のポートサンライト 100年前に学校も教会も作った

英国の最初の工場町はチョコレートのカベリ社労働者の町としてより福祉を充実させた町づくりを行ったのが石鹸会社ユニバー社のポートサンライト。産業革命以降、汚れた機械や体を洗う石鹸会社はイクセントカンパニーとして大いに発展しました。馬車だけの車のない時代に公共交通としてリバプールはポートサンライト駅、学校、消防署を作り、私財を投じて宗派を問わない教会まで建設しています。今この教会を建設したら28億円かかるとトラストで試算しています。当時の30人の英国建築家のデザインはどれもヨーロッパの歴史文化を反映した様々な建築様式。人々がいつの時代も住みたいと感ずる恒久的なデザインは色あせず資産価値を持続させています。今から100年前、職場に隣接し豊かな住環境が整い、教育の場が提供されると次第に優秀な人々が集まり、その人々に対して様々なサービスを提供する施設も充実しました。1万人の従業員は3000人となった現在でもユニバー工場は工場町と共に敷地内に歴史を刻み続けています。取材 (株)アップル大竹喜世彦



ポートサンライトのトラスト協会のピーターさん



石炭ストーブの名残の煙突古いポスト



2階の張出しがジャフィーという



今なお残るユニバー社屋と工場



美しいレンガ造の建物



木造のハーフィンバーの連棟も多い



学校や私設消防署まで作った



住民のために私財で作った教会

【建築と生物学】を結ぶ【バウビオロジー建築】

日本には自然とかかわる【しつらえ】に親しみ自然と共に暮らす習慣がありました。
『エコバウ・リフォーム』は自然素材を多用する私達の考えが詰まった
『エコロジーで健康』なコンセプトリフォーム。アップルで推進中です!!



電力自由化から10余年 代替エネルギーについて考えよう! 自然エネルギーは何ぞ太陽光発電だけではない

【パッシブで低エネルギーな住宅に

2度目の訪問となったイギリスは1956年の核再処理燃料工場がアイルリッシュ海に放射性廃液を投棄した。半世紀以上を経た今も暴挙として隣国から英国批判が続く原発に繋がった。5年連続で訪問しているドイツは2022年電力の1/4を占める原発を廃止にすることを決定した。ついでにドイツの世界的企業ジメンスも原発関連の事業をやめ、自然エネルギー事業に転換する事を決めた。日本の保安院はレベル7はチェルノブイリと同じだけ放射能の放射は1/10だと言うが事故から25年もたつのに11万人は今も帰還できずにいる。「フクシマ」は未だ現在進行形である。共産・社民以外の政党は原発推進であったが沖縄基地と同じ構造を今回の出来事を目にした地方の反乱でエネルギーの主権は完全に地方に移り、新規の原発建設はもう動かなくなるだろう。日本の住宅業界は電力を膨張させることに躍起になり、電力の伴走を務めここ数年「オール電化」で膨張し続けた。2002年に13,000戸だった「オール電化」は2010年には、855,000戸迄伸び増えた200万kw分の電力は実に原発2基分に相当する。原発震災で面舵いっぺいの切り替えが求められ電力事業法27条発動(総量制限)は避けられず、世間は従来通りは続けられないと思ったのにわが業界は頭が回っていない。すでに関東全域で中止となっている「オール電化」に対して「やっぱりガスだね」といった従来のノーマルな単純な選択はなくなるし、もう日本でも、お金の損得という価値観よりも、生活の安全や価値観の根源的な転換が進む筈である。原発震災だから「ソーラー発電」でエコというのでは情けない。建築でやるべきことから逃げてはいけない。究極の節電は「パッシブで低エネルギーの建築」を具体的に進めることであろう。



【日本の建築】でやれること 迷った時には元の道に

原発の話題はこれで終わりにしよう。ドイツの電力の3割を消費している住宅では、ほぼ0エネルギー住宅のパッシブハウスの技術も、古い住宅や70年代に建った公園などを8割程度省エネ化する改修技術もある。ドイツの古い家を見るとレンガが縦方向に2枚(50cm)用いられ熱容量の高い壁から体感温度の6割をこの放射熱から得ている。日本の夏は熱帯気候のジャカルタやバンコクに近く冬はパリやベルリンと大差ない。つまり日本は熱帯と寒冷の2モードの切り替えを要する国だ。切実な夏対策は日射遮蔽。高気密高断熱な家は一度入った熱は容易に抜けないので日射を部屋に入れられないのがポイント。日影図を把握し日射を建築上の工夫で、例えば日本の庇簾、ヨーロッパのオーニング、外付スクリーンで徹底に行う。屋根からの放射熱を防ぐのに遮熱塗装し、屋根直下に断熱材を入れ、棟換気を行うなどすべて改修で可能。ノウハウは細部に宿るので是非一度アップルまでご相談いただきたい。アップル代表大竹喜世彦

★(株)アップル、社員が参加した講習会・イベント★

- 7/7-14 【イギリス長期優良・ドイツエコロジー住宅視察】主催:日本住宅生産性研究会
- 7/16(土) 【下野市エコライフ祭り】主催:下野市・南河内商工会
- 7/24(日) 【現地酪農家が訴える福島原発被害】主催:下野市・環境問題を考える会
- 7/30-31 【南会津の茅葺集落探訪と囲炉裏端交流会】主催:日本民家再生協会



次回もアップル隊長の【英国・建築視察】のレポートをお伝えします!!



弊社ホームページで毎日掲載中です。

●エコ建築&環境の取組みは。。。アップル www.reform-apple.com イベント

ロハス・デザイン&エコロジー・リフォーム

ECOBAY REFORM

リフォームアップル自治医大店
URL <http://www.reform-apple.com>

リフォームアップル自治医大店

☎0120-393-897

栃木県下野市祇園1-20-1 〒329-0434

(自治医大駅東口・足銀すぐそば)

☎0285-44-8208 (fax共通)

ホームページで実例を多数ご紹介中。